

板野中学校 同和教育だより

MY SKY 第2号

マイ・スカイ

2001年5月8日(毎月第2・第4火曜日きまぐれ)発行

/(*)_*

発行者

編集・文責
馳吉成正士

ゴールデンウィークはみなさんどうしていましたか？まだボーッとして、調子^{ちやうし}のあがってない人、体^{たいちよう}調^{くず}を崩^{くず}してる人はいませんか？楽しい遠足も終わり、今月末には体育祭、続いて1年生にとっては初めてのテスト、中間テストが行われます。めまぐるしい毎日かもしれませんが、あたふたと振り回^{ふりまわ}されるのではなく、自分からすすんでいろんなことにチャレンジしてみしょう！きっとキミ自身が成長^{せいちよう}できるはずッ！！



第6回部落解放徳島県学習会中学生集会

◆ 第1回実行委員会、いよいよスタート！！(5月19日：小松島厚生福祉解放センター)

タイトル通り、県内の学習会に通っている中学生が集う集会です。この集^{しゅう}会^{かい}を始め、たずさわってきて、私自身もう6回目になりました。これまでいろんなドラマがありましたが、昨年^{しやうかい}のエピソードを一つ紹介^{しょうかい}します。

この集会は、できるだけ中学生に主役^{しゅやく}になってもらおうというのが、ねらいの一つです。ですから、進行^{しんこう}から、いろんな決^きめ事^{ごと}をしたり、実^{じつ}際^{さい}に動^{どう}く^くのも中学生です。「そんなことやれないよ～」と言う人もいますし、言わなくてもそう思っている人もいます。でもやり始めると、割^{わり}と自分たちでできちゃうんです。時間はかかるけどね。

昨年、この集会を進めていく中心メンバーを募集^{ぼしゅう}したところ、県内の中学生から、40名を越^こえる申し出^{もうしで}がありました。見ていた私もビックリしたくらいです。それだけやる気のある中学生がいるんですね～。でもそれにとどまらず、実^{じつ}行^{こう}委^い員^{いん}長^{ちやう}をやりたいと言ってきた人が2名いたんです。どうすればいいか、初^{しよ}対^{たい}面^{めん}に近い40名同^{どう}士^しが話^わし合^あいを始めました。どうやって一人^{ひとり}に絞^{しぼ}り込^こむのか、多^た数^{すう}決^{けつ}でいいのか、どうしてやりたいと思ったのか……。二人は互^{たが}いを立^たてつづも、決^{けつ}して引^ひきませんでした。それでも無^む理^り矢^や理^り一人に決^{けつ}めようとしたとき、ある子がボソッと言いました。

「実行委員長二人ではあかんの？」

みんながハッとして、私に聞いてきました。私は、

「二人ともどうしてもやりたいと思って、みんながいいんならいいん違うん。」

みんなの会なんやから、みんなで決めてみな。」

この後^{あと}はあっさり決まりました。

次は副実行委員長でした。これも10名の申し出がありました。

「いくら何でもそれは多い。」「まとまりがなく、話し合いができない。」

ということで、これも大議論となりました。何人程度がちょうどいいか、どうやって決めるのか、どうしてやりたいのか……。一つのテーマだけでもかなり時間がかかるので、希望者だけ、別室で話し合うことになりました。すると、その中の3名から、

「司会をさせてもらえるんだったら、降りてもいい。」

という申し出がありました。もとより有り難い、協力的な発言だったので、すんなりみんなに受け入れられました。しかし、残り7名からは進みませんでした。遅々として話し合いが進まず、平行線の時に、コソッと数人に「どしてそんなにやりたいん？」と尋ねてみました。

「ほなって先生、私ら二人がおらんようになったら男子ばかりで。女の子もおらん！」

「先生、僕以外みんな3年生で。2年生も一人くらいおらんたら来年困るでえ。」

「参った！みんなよう考えとる！」と感心しました。結局は7名を全員に了解してもらおうという結論になり、全員もそれを了解したわけです。

側で見ていてハラハラしましたし、時間もかかりましたけど、本当にステキな場を見せてもらったなど感謝せずにはいられませんでした。それぞれ違う強烈な個性が、ぶつかり合い、磨き合って、輝きを増しているように見えました。そしてそれが、300名を越える大会当日の参加人数や盛りあがりにつながっていったんだと思います。

中心メンバーのほとんどの子が高校生となりましたが、出身中学校は違えど、今でもつながり合ったまま、今年は高校生の集会で活動を始めるそうです。

どうですか？学習会のみなさん、参加してみませんか？どうせやるなら、前向きにやってみましょうよ！中には裏方の仕事もありますから！

やる気のある、行ってみようかなという学習会のみなさん！誘い合ってみんなで行こう！

中心的に活動してみたい人も当日大募集します！！

部活の先生方も、できる範囲でご協力お願いしま〜す！

これからの準備会の日程

第1回実行委員会

日 時 5月19日(土) 14:00~16:00
場 所 小松島 厚生福祉解放センター
参加者 学習会生徒・学習会担当教員
交 通 引率教員の車(保護者の了解を得ておいてください)

第2回：6月2日(土)

第3回：6月16日(土)

第4回：7月7日(土)

本大会：8月28日(火) 郷土文化会館

参加希望者は、前日までに学習会または学級担任の先生まで申し出ておいてください



いしかわかず お

む ざい

さいしんかい し

さ やましゅうかい

石川一雄さんに「無罪」を！再審開始を！(映画集会：5月22日：労働福祉会館)

えんざい めい し む じつ つみ

えんざい[×冤罪・名詞]無実の罪。ぬれぎぬ。

今からちょうど38年前の1963年5月23日、埼玉県狭山市に住む一人の被差別部落の青年が逮捕されました。彼の名前は石川一雄。当時24歳でした。容疑は「暴行、窃盗」などでしたが、警察の本当の狙いは、5月4日に死体で発見された女子高校生の「誘拐・殺害事件」で取り調べることにありました。

この事件の概要は次のようなものでした。

5月1日、川越高校入間川分校1年生のNさんに20万円を要求する脅迫状が届けられました。脅迫状はNさんの高校の身分証明書といっしょに封筒に入れられており、玄関のガラス戸に差し込まれているのをNさんの兄が発見しました。家族はすぐに警察に届け、知らせを受けた埼玉県警は、翌2日深夜、身代金の受け渡し場所に指定された佐野屋という雑貨屋周辺に警察官40人を張り込ませましたが、あらわれた犯人は取り逃がしてしまいました。3日早朝から警察は山狩り捜査を開始、翌4日午前10時、農道に埋められていた被害者の死体が発見されました。

石川さんは、逮捕から1ヶ月間、取り調べのあいだ一貫して無実を訴え続けました。しかし、ついに犯行を認める自白を始めました。7月9日、石川さんはNさん殺害事件で起訴され、浦和地方裁判所で、わずか半年の審理ののち死刑判決を言い渡されました。

1964年9月10日、東京高等裁判所の第1回公判で、石川さんは、「お手数をかけて申し訳ないが、私はNさんを殺していない。このことは弁護士にも話していない」と自白を撤回し、一転して無罪を主張しました。しかし、1974年10月31日、寺尾正二裁判長は、一審判決を破棄し、無期懲役の有罪判決を言い渡しました。

弁護団はただちに最高裁に上告、1976年1月28日には上告趣意書と7つの新鑑定書を出しましたが、最高裁第2小法廷は事実審理をおこなうことなく、1977年8月9日、突然、上告棄却決定をおこなったのです。これによって2審の無期懲役判決が確定し、同年9月8日、石川さんは千葉刑務所に下獄しました。

そして「これ以上拘禁を続けることは不公平、不当である」という国民の声も広がり、1994年12月21日、石川さんは、31年7ヶ月にもおよぶ長期の獄中生活の後、仮出獄をはたしました。

しかしその間、再審請求をずっと続けていたにもかかわらず、1999年7月9日、東京高等裁判所第4刑事部、高木裁判長は、膨大な事件資料を公開することなく、再審請求を突如棄却しました。「いくら何でも民主主義国家なんだから、もう再審を開始してくれるだろう」と信じ込んでいた石川さんのショックは、私たちが想像できないくらい大きかったと言います。(この頃の石川さんのドキュメント番組のVTRあります)

ステージになるのやら。もしかすると、会場にすら入れないかも……。

何はともあれ、興味のある人は、是非氣に留めといてください！（ただし期末テストの真っ最中かもしれないので、注意しておいてください！）

日 時	6月24日(日) 10:00~12:30, 14:00~16:30	2回公演
場 所	文化の館 さくらホール	
主 催	TDCS夢ファクトリー	
講 師	盲目のシンガーソングライター 堀内 佳(「輝け虹色丸」の方です)	
	イラストレーター・グラフィックデザイナー 高石初美	
	TDCS代表・四国大学教授 田村典子	
参加費	1000円	



■最近、ここ半年^{ほんとし}くらい度々^{たびたび}感じることはありません。それは、「『これくらいは知っているだろう』と思っていたことでも、^{あんがい}案外みんな知らないんだな……自分勝手に『知っているだろう』と思い込んでいただけだったんだな……」ということなんです。それは私自身のことについてもそうですが、同和教育・部落問題学習についてもそうでした。 ■「まず自分自身を語ること」これは、私自身が一番大切にしてきたことの一つでした。しかしそれが伝わってない以上、基本にかえって、まず私自身のことについて次号から「連載」^{れんさい}という形で伝えていこうと思います。前号で、私が板中に来て1年目の時の家庭訪問について書きましたが、そのあたりから、書き始めてみようと思います。途中で過去にさかのぼることもありますが、どうぞ読んでみてください。



5月19日(土)	第6回部落解放徳島県学習会中学生集会第1回実行委員会(14:00~16:00 ; 小松島厚生福祉解放センター)
22日(火)	体育祭
28日(月)・29日(火)	中間テスト
6月2日(土)	第6回部落解放徳島県学習会中学生集会第2回実行委員会(14:00~16:00 ; 場所未定)